

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.912
2021.3.28

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

全市民を対象に PCR検査を広げよ

予算委員会・総括質疑

者が発生した場合相対的に重症化しやすい入所者が多いため、クラスター発生防止を第一の目的として補助の対象にした。検査費用は無償で検査を受けることができる価格を（上限額に）設定した。

とりうみ 変異株を含めた無症状者を把握し、感染を防ぐことが喫緊の課題。PCR検査の対象をクラスター発生地域すべてに広げて、点から面の検査に拡充すべきと考えるが、見解を。

市 本市としては、引き続き症状のある方、有症状者や濃厚接触者に対する検査費用の公費負担の実施とともに、感染拡大が見込まれる施設や地域への対応を基本としていきたい。

とりうみ クラスターが発生してから把握するのでは、これまでのPCR検査体制と変わらず、無症状者の把握や感染者を減らすことにはつながらない。全市民を対象にし

医療・福祉の充実を今こそ

予算委員会・討論



3月12日、2月議会の予算委員会でたけこし連市議が討論にたちました。新年度予算案は、一般会計・特別会計をあわせて9307億円、さらに企業会計も加えると総額1兆557億円（前年比499億円増）で、さいたま市史上最大規模となりました。

たけこし市議は「議案のなかには評価すべき予算案もあるものの、新型コロナの影響により個人所得が落ち込み、市税収入は102億円の減少見込み。市民ひとりあたりの給与所得見込みも約357万円と、前年比で18.5万円もの減少となっている。市民のくらしがかつてなく厳しい状況であるいまこそ、くらしを支えるべき」と主張。市が新年度予算で福祉関連予算を約28億

円削り、清水市長が就任した2010年からの累積削減額は約160億円にのぼることを指摘し、「医療・福祉に優先的に予算を配分していくことが求められる」と述べました。また、2都心4副都心構想をはじめとする大型開発などに湯水のごとく予算をつぎ込んできた経緯を批判しました。

公共施設マネジメント計画についてたけこし市議は「ハコモノを減らすと言いながら施設面積は7.5万㎡増となった。4施設で複合化されたが、総数は12施設増えており、公共施設を減らす計画そのものが破綻している」と指摘し、市民のニーズと相いれない計画はやめるべきと求めました。

また、さいたま市職員による生活保護費不正支出事件について「最後のセーフティネットへの信頼を損ねる事態となった。この事件によって、生活保護の申請をためらわせることはあってはならない。申請のハードルである扶養照会は、申請者の同意がない場合はやめるべき」と強く求めました。

しかし、他会派の賛成により、新年度予算案は可決されました。

たPCR検査を大いに広げていくべき。

とりうみ市議はそのほか、コロナ禍での生活困窮者対策について質問。特にひとり親世

帯や非正規労働者、女性、学生などの困窮が続いているとして、さいたま市独自の給付金制度の創設や、経済的支援を求めました。



3月12日、予算委員会でとりうみ敏行市議が総括質疑をおこない、はじめに新型コロナウイルス感染症対策について質問しました。

さいたま市の2021年度のコロナ対策は、14の新規事業で総額113億円の予算が組まれています。国は高齢者施設での社会的検査の拡充や無症状者発見のための検査拡充を打ち出しましたが、市は高齢者・障がい者施設の新規入所者が上限2万円、職員が上限9000円の補助で、いずれも希望者だけです。

とりうみ 高齢者・障がい者施設の通所者をPCR検査の対象としなかったのはなぜか。通所者を対象に含め、入所者や職員に対する検査も費用を無償にすべきと考えるが、見解を。

市 入所型の高齢者・障がい者施設は、感染

予算・保健福祉

保育の公的責任を果たせ 公立保育所を民間譲渡 統廃合するな



3月5日、予算委員会(保健福祉委員会関連)でたけこし連市議が質問にたち、待機児童対策について質疑をおこないました。

たけこし 今年4月入所の認可保育所一次募集は、昨年度と比べて承諾者数が1116人プラスだが、依然として2000人を超える不承諾者を出す結果となった。市の評価と改善点は。

市 不承諾者数が減ったのは3500人程度の受け入れ枠を拡大した効果だが、2000人を超える不承諾者については重く受け止めている。今後必要なエリアに保育施設等が整備できるよう努める。

たけこし 本市が誕生して以降、建設された公立保育所とそれ以外の保育施設の数。

市 公立保育所はゼロ。私立認可保育所、認定こども園、小規模保育事業、事業所内保育事業を合わせて305施設。

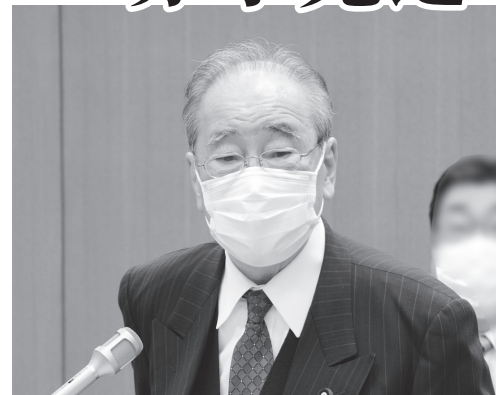
たけこし 保育所確保を民間に頼りきっているのが今のさいたま市だが、それでは保育

ニーズを満たせていない現状がある。保護者の希望は第一希望の認可保育所に入ることだ。私たちは保育所が足りない地域では積極的に公立保育所をつくるべきと主張してきた。しかし市は、新年度からはじまる「公共施設マネジメント計画第2次アクションプラン」ですべての公立保育所を対象に3年連続で入所児が減ったところを民間譲渡や統廃合しようとしている。需要が減少している地域は、当然民間も手を挙げないと思われるが、とばめぐみ市議の代表質問に市は「利用者が減少しても保育需要はなくなるので民間は参入する」と根拠のない答弁をした。さらに「民間が手を挙げなかった場合、公立保育所は守られるのか」とただすと「仮定の話は答弁を控える」と。なぜ「公立保育所を守る」と言えないのか。行政の責任を放棄していると言わざるをえない。市の考える保育の公的責任とはなにか。

市 保育を持続的に継続的に実施していくことが行政として責任を負うことと考えている。

たけこし 果たせていないではないか。さいたま市が主体となって保育所を確保する、ここについても責任を果たしていくべきだと強く求める。

予算・まちづくり 新都心長距離バスターミナル 赤字見込みの予算に道理なし



3月8日、2月議会予算委員会(まちづくり委員会関連)でとりうみ敏行市議が質問にたち、さいたま新都心に暫定整備された長距離バスターミナルについてとりあげました。

長距離バスターミナルは、東京オリンピック・パラリンピックでの供用をめざし、約63億円あまりの事業費が使われ昨年6月から開始されました。とりうみ市議が収支について質したところ、市は「歳出予算約6543万円に対し、収入は約2200万円で4400万円の赤字。新年度予算でも4900万円の赤字を見込んでいる」と答弁しました。

とりうみ市議は「暫定整備といって市民の

税金を63億円もつぎ込んでおきながら、コロナ禍とはいえ、新年度から赤字予算とすることに道理はない」と強く批判しました。

市庁舎の移転先がバスターミナル？

続いてとりうみ市議は、さいたま市合併以来、懸案となっていた新庁舎建設予定地が、さいたま新都心バスターミナル用地に決まったことから、「バスターミナルの本格整備は進めるのか。すでに暫定整備した現在地はどうなるのか」と質しました。市は「本庁舎との複合機能の継続を基本としながら、国から要望されている『パスタ大宮』を見据えて、バスターミナルの役割分担の検討を進める」として、あらたなバスターミナル建設を示唆しました。

とりうみ市議は「市庁舎移転で多額の費用がかかるうえに、バスターミナルをもうひとつ作るなど、これ以上の無駄使いは止めるべき」と主張しました。

あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保 みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連